



ジュニア議員の提案は本紙の中ほどへ！



10月3日(水)に議会で共催する「ジュニアリーダー夢議会」

特集！

ジュニアリーダー夢議会

……10～11

尚絅大学生によるレポート

……17～18



区長会役員との意見交換会を実施



意見交換の内容

地震の経験を活かし、平時時から、「区長を中心とした地域リーダーの育成」や「組織を動かす権限、ルールづくりの大切さ」、「個人情報保護の運用」、「普段からの人と人との

9月28日に区長会役員の皆さまと「被災経験を踏まえた避難所運営」のテーマで意見交換を行いました。当日は3グループに分かれて課題や改善方法などを激しく議論した後、代表者が全体発表を行いました、参加者全員で認識を共有しました。

平常時の備えと絆づくりが大切
熊本地震の経験を踏まえた避難所運営



絆、「子ども、高齢者、要介護者、新住民も含めた地域の特徴を活かした地域づくり」が必要などの活発な意見が出ました。

問題解決に向けて、様々な意見が出ました。

傍聴に来てはいよ

議会はどなたでも自由に傍聴できますので、ぜひお気軽にお越しください！

●日程●

12月7日(金)～14日(金)予定

●会場●

オックスプラザ 2階
ふれあいホール

議会広報編集特別委員会

議長・発行責任者
桐原 則雄

委員
山本 宣天
山部 良二
三宮 美香

副委員長
金田 英樹

委員長
豊瀬 和久

編集後記

少しでも身近で分かりやすい「議会だより」を目指して、高校生、大学生、PTA役員など多くの皆さまと意見交換会を実施しながら、紙面全体の見直し・改善を進めています。

これからの「まちづくり」に向けては住民との「協働」が求められています。我々議会も“行動”で範を示し、住民の皆様の声へ真摯に耳を澄ます。そして、残すべきは残し、変えるべきは労を厭わずに動き、より良く改善していく。

それこそが「住民にも行政職員にも心から信頼される議会」への大切な一歩だと思います。

(金田)

平成30年11月1日 第85号 発行/熊本県菊池郡大津町議会
編集/議会広報編集特別委員会 印刷/創文印刷
〒869-1292 熊本県菊池郡大津町大津1233 ☎(096)293-8989

↓ 皆さまの声をお寄せください！

切り取ってお出しくささい

郵便はがき

料金受取人払郵便

大津局
承認
308

8 6 9 1 2 9 0

(受取人)

大津町大字大津1233番地

大津町役場 議会事務局

議会広報編集特別委員会 行

差出有効期間
2020年6月30
日まで
(はがき貼らずにお出しくささい)

ふりがな
ご氏名

□□□-□□□□

ご住所

お電話 () - () - ()

この議会だよりには、
フォント「マチイロ」が採用されています。

この議会だよりには、
リサイクル推進のため
再生紙を利用しています。

大津町の歳入の状況（平成29年度 一般会計）

※歳入とは、大津町に入ってくるお金で、町民の皆さんが大津町に納める税金や国、県から交付される支出金等があります。

①町税	町民が大津町に納める税金	47億9,600万円
②地方消費税交付金	熊本県が受け取った地方消費税精算金のうち、大津町に交付されたもの	6億6,900万円
③地方交付税	日々の行政運営に必要な経費に対する財源不足額を補うものとして国から交付されるもの	19億1,700万円
④国庫支出金	地方公共団体が行う特定の行政サービスに対し、国から交付されるもの	41億8,300万円
⑤県支出金	県からの補助金など	32億8,600万円
⑥繰入金	各種基金などから繰り入れたもの	10億2,300万円
⑦諸収入	延滞金や貸付金の元利収入など	2億270万円
⑧町債	一時的に多額の経費が必要となる事業の財源として借り入れたもの	33億7,700万円
⑨その他	使用料や手数料、国から交付される地方譲与税など	31億4,700万円
計		226億円

上の表のうち、①⑥⑦と⑨の一部は、自主的に徴収できる財源で「自主財源」といいます。国から交付を受けたり、銀行等から借り入れる財源である②～⑤⑧と⑨の一部は「依存財源」といいます



議員の賛否を公開します

上程された議案	桐原 則雄	府内 隆博	荒木 俊彦	津田 桂伸	永田 和彦	手嶋 靖隆	坂本 典光	大塚 龍一郎	源川 貞夫	本田 省生	佐藤 真二	豊瀬 和久	金田 英樹	山本 富二夫	山部 良二	三宮 美香	賛成 ○	反対 ●
熊本県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更	—	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
大津町立小学校タブレットパソコンソフトウェア購入	—	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
一般会計歳入歳出決算の認定	—	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	—	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	—	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
後期高齢者医療特別会計歳入歳出の認定	—	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
一般会計歳入歳出決算の認定についてに対する付帯決議の提出	—	○	○	●	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	11	4
介護保険の見直し・再構築の要望に関する意見書の提出	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	14	1

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否の分かれた議案のみ掲載しています。その他の議案については議会ホームページ、会議録をご覧ください。

大津町議会 検索

詳細はこちら

大津町議会HP会議録



桐原議長

平成29年度一般会計などの決算を認定
予算の執行への法令遵守を求めた
付帯決議も

9月定例会を、9月3日から9月14日までの12日間の会期で開きました。
町長提案の一般会計補正予算をはじめ条例改正など24件の議案を審議し可決しました。
また、議員発議の、「児童虐待防止対策の強化を求める意見書」を全員賛成で可決、「介護保険の見直し・再構築を求める意見書」を賛成多数で可決しました。
平成29年度一般会計・特別会計・事業会計などの8会計では、審議の結果、全ての決算を認定しました。また、認定する際には付帯決議(※)をしました。
一般質問には、9人が登壇しました。

※付帯決議とは
議決に際して、希望意見として表明する決議。法律上の効果を伴わない。

決算に関する質疑では、個別事業に厳しい注文も



荒木 俊彦議員

監査委員意見書に「款・項の流用」とある。款の流用も違法ではないか。
答 実際にあったのは項の流用のみ。そちらも好ましくはないため補正予算で補正済みである。



豊瀬 和久議員

ホームページのリニューアルをしたが使いづらいのではないかと。また、SNSでの情報発信はどのようにしているのか。
答 古い情報を削除するなど使いやすくする。SNSは費用もかからないので活用していく。



佐藤 真二議員

被災農家などの復旧復興に関する事業がスムーズに進んでいない。
答 原因や今後の進め方などの声を国や県に届けていく。



金田 英樹議員

決算における監査委員指摘の「証書書類の処理や整理保存の不備」は委員が代わっても数年にわたり毎年なされている。改善が急務ではないか。
答 統一基準がないのが主な原因。「会計の手引き」をつくる考えである。



永田 和彦議員

熊本地震により入ってきた財源はどのような優先順位や会計ルールに沿って支出しているのか。
答 補助のない単独事業で熊本地震により重要性の高いものに支出している。

ひとひと 女と男が共に活躍する 男女共同参画

未来へ の推進を

女性の活躍推進を

Q 推進事業の内容と昨年度の実績は。

A 育児や介護で休業中の方を対象とした「働きたい女性」を応援するセミナーである。職業無料相談所などで希望する声が多かったため、昨年度から実施している。ビジネススマナーや近年の就職状況など、すぐに役立つ内容で計4回実施。スキルアップを図りながら再就職の不安を解消することができ、昨年度は3名の就職につながった。



セミナーの様子



府内議員

Q 防災協働社会の実現を目指して

A 土砂災害危険住宅移転事業でレッドゾーン（土砂災害特別警戒区域）内から移転した場合、既存住宅は自己負担での解体か。
A 基本的には自己負担で解体。

今回対象の家屋は地震では一部損壊であり、公費解体の対象ではない。
Q レッドゾーン内の住宅件数は。

A 128件で、ハザードマップ作成時に住民説明会を開催している。

Q 西日本豪雨でも逃げ遅れた方がいる。レッドゾーン内の方へいち早く避難勧告・避難指示の情報を伝えるシステムはあるのか。

「まち・ひと・しごと 創生総合戦略」

Q 総合戦略の内容と推進委員の役割は。

A 6次製品の開発、インバウンドによる駅周辺の活性化などを基軸に戦略を立てている。

委員は企業・金融機関・教育機関・学識経験者などの各種団体、また公募から15名以内の予定。事業の進捗状況や効果の検証を推進委員におこなってもらう。

Q もっと地域おこし協力隊を活用すべき

A 地域おこし協力隊の現状は。

A 前任の方々は任期満了後、



荒木議員



源川議員



山部議員

Q 地域公共交通網形成計画の推進を

A 事業の実施計画はどんなっているのか。

A 事業の実施・評価は32年度まで。実施計画の策定は行わない。

Q 乗合タクシーについての構想は。

大津町に定住し仕事を始めたり、町内企業に就職され自立されている。

今年度は募集をかけたが任用につながらない状態。有名な自治体に応募が偏りがちな現状。今後、東京で開催される地域おこし協力隊の大会会場へ出向き大津町をPRし任用につなげたい。

Q 募集する町側もしっかりとした目的を持たないといけないのでは。

A 南部サイクリングロードの検討、北部南部の地域おこし、また中心市街地の活性化やイベント創出などを目的に募集している。



大塚議員

A 利用率の低迷が続くバス路線を見直して、交通空白地域に乗合タクシーを導入し利便性を高めることを先行して進めている。町全体の公共交通網見直しは複数の案を作成中。

Q ふるさと納税のさらなる活用に向けて

A 専用サイトを「さとふる」以外に増やす予定は。また、全国的にPRする方法は。

A 受け入れの幅を広げるため、専用サイトを増やす方向で検討中。パンフレットの配布やSNS等で情報発信し更にPRを進める。



執行部

まちづくり交流 無料のままだが

センターの使用料は6年間 徴収すべきではないか？

**交流センターは、町民の
交流を目的にした施設**



永田議員

Q 交流センター使用料の徴収を行わない規定は、条例に明記してあるのか。

A 大津町まちづくり交流センター条例の第7条（使用料の減免）に「交流センターの目的に沿った会議や事業を行うために使用するとき。ただし、当分の間とする」と明記している。

今までは、減免していたが、開館から6年経過しており、周知期間も終わっていると思うので、新年度からは、徴収する方向で検討したい。

Q 考え方は分かるが、身銭



上井手かんがい排水事業

地蔵祭で花火を打ち上げた時の反応は

A 平成29年度に約30年振りに花火が復活し、多くの人に喜んでいただいた。しかし、花火の高度が足りずに見えにくかったことや時間が短いという意見もあった。本年度は、打上会場付近の混雑もなく、高さもあり大変よかったのではないかと思う。

Q 花火の目的は何なのか。

A 花火を復活してほしいという地域の要望があった。平成29年度は花火への補助金はなく、実行委員会の中で経費の削減など努力をして、地蔵祭を盛り上げるため、実施したとのことだ。

を削って活動しているボランティア団体も多く利用している。慎重な対応が必要では。



豊瀬議員

道路の損傷については、SNSなどで住民からすぐに行政に

A 地震後は通過車両の増加により、町内の道路の損傷が激しくなっている。地元区長からの報告を受け、国・県に補修を依頼している路線もある。そのほか現在は町職員にも片内メールで道路の異常報告を呼びかけて対応もしている。

ある。好評だったということもあり、平成30年度も引き続き実施された。

Q 会場周辺の規制があったようだが、打上会場は現在の場所でもよかったのか。今後検討が必要ではないのか。

A 今後、決算報告も含めた実行委員会が開催される。より良い方向になるよう意見および提案をしたい。



山本議員

地震関連の復興基金の活用期限はあるのか

A 県に確認したところ、現段階で期限は決まっていないが、基金がなくなり次第終了するとのこと。

Q 町道の改良や維持補修の基準はどうなっているか。また町道認定の基準はどのようになっているか。

A 以前は点数を付けて優先度を判定していたが、予算の問題もありなかなか難しい。地元区長からの要望も多く、文書で提出いただいたものについては、状況を回答している。

また、町道認定については、不特定多数の車両が通行できるものを基本としている。新しく開発された道路についても公益性を検討して町道認定している。いろいろなケースがあるので現在町道認定の要綱等を策定している。



金田議員

Q 随時情報収集を行い、その情報を早めに周知し、復興基金を活用して復旧・復興を終わらせるべきではないか。

A 復興基金の受け入れ先である財政課と協議しながら農業施設等の復旧に役立てていく。



町道古城線道路災害復旧工事



執行部

人的物的充実

そして学校環境の整備

H27年度との利用状況比較

	H29年11月～ H30年3月	H30年 4月～8月
利用団体	4倍	6.7倍
利用者数	4.2倍	6倍
使用料収入	10.3倍	24倍
稼働率	84.8% →	99%

こんなに増えた!!

**多目的広場
再整備の成果は**

Q 昨年度人工芝・ナイター設備を整備した運動公園の多目的広場の活用状況は。

A 活用状況は左表の通り。

町内と町外の利用者数は半々。平日は大阪の子どもが利用。土日は大会開催等でほぼ満杯の状況。ナイター設備も完備したことで、夜間まで利用可能となった。



町内の学校の雨漏り

Q 雨漏り調査設計の完了時期は。

A 委託期間は11月30日まで。9月末までには調査を終わらせ、大規模改修をするのか、応急工事で終わらせるのか判断し、方向性を早急に出していかなければならないと考えている。

Q 学校雨漏り対策は、今すぐしないと駄目なのではないか。12月の補正予算計上を求める。

A 目安としては、その方向で進んでいる。1日でも早く子どもたちの生活環境、学習環境を整えるべく動いている。

学校の雨漏りについて一刻も早い対応を！



佐藤議員

手嶋議員

本田議員



坂本議員

三宮議員

その他、審議の内容を簡潔書きでお知らせします。

**環境保全への関心
周知と工夫を**

◆ 雨水浸透ます設置の促進
↓ 全戸へチラシ配布し周知
◆ 資源回収でのペットボトルの補助金単価を増額
↓ 検討する



通学路に点在するブロック塀

Q 学校施設・通学路に関する危険箇所は、どのような点検・対応を行っているのか。

A 先般の大阪地震を受けて、すぐに学校を通じて通学路の点検をお願いした。「この壁が倒れたら危険」という視点で点検。地図上に、ブロック塀等の危険箇所を表示してもらい、土木部に状況を報告している。通学路のブロック塀は、個人の所有物のため、ホームページや広報を通じて、安全点検のお願いをした。

学校・通学路のブロック塀点検と対応は

◆ 民生・児童委員の数の定数増員
↓ 2地区増員を県に申請
◆ 災害時に支援が必要な名簿への記載の同意
↓ 同意者増を目指す
◆ 重度心身障害者医療費助成制度、大津町は自己負担あり
↓ 菊池圏域地域自立支援協議会に従い現行
◆ 介護用品給付事業で使える用品の拡大
↓ 8月から追加拡大中

人的にも物的にも
福祉の充実を



審議中の委員会の様子

Q 幼稚園の定員割れが深刻であるが対策は。

A 延長保育や夏期預かりなどの保育サービスの充実や公立幼稚園のアピールなどを実施している。

Q 保育園の待機児童も含めて考えたときに幼稚園のあり方をどう考えているのか。

A 幼稚園教諭の不足から定員分を預かることができない現状がある。今後、児童数が減ったり、保育園の待機児童が増えたりするようであれば、幼稚園の合併や認定こども園への移行も検討しなければいけないと考えている。

Q 待機児童が増えるのであれば、幼稚園を縮小するのではなく、受け皿として定員を確保すべきではないか。

A 幼稚園教諭を確保して、定員までの受け皿を確保することは考えている。

町立幼稚園の定員割れと幼稚園教諭不足

【中高生議会】ジュニアリーダー夢議会

10月3日（水）に議会で共催する『ジュニアリーダー夢議会』が天津中学校の体育館で実施されました。

町内5つの学校から10人が登壇し、調査研究と4回の事前学習会を経て練り上げた提言を、**一般質問（水色）**および**「50年後の天津町」というテーマのパネルディスカッション（桃色）**で、町長や教育長などの町執行部へ熱く伝えました。



10人のジュニア議員の
提案はコチラ!!

通学路の安全 声を聴いて



天津中 山下雄星 議員

質問に先立って校内アンケートを実施した。町がホームページに載せている危険箇所と我々子どもが危ないと思っている場所が違う。毎日歩いている我々だから分かることもあるので、子ども達に聞いてほしい。また、危険だと分かっている箇所が長く改善されていないのはおかしいのではないかな。

旧57号線沿いの活性化を



天津高 宮川はづき 議員

旧57号線は、人や車通りが多いにもかかわらず、シャッターの閉まった店舗や空き家が多い。空き家・空き店舗を活用するために、町が主体となつて、出店を検討する人が数カ月間安く借りられるチャレンジショップを実施するなどの取り組みを行ってほしい。また、今営業している店舗の情報が学生に届いていないので、知らせることも有効だと思う。

健康寿命向上のためにも 町営プールを



天津北中 今村雅乃 議員

町営プールを建設してほしい。今夏は熱中症の危険性から小学校のプール開放が中止になり運動量が減っている。今年度、北中のスポーツテストでは50mと持久走が県平均より低い学年があったが、プールで泳ぐことは体力向上にも繋がる。さらに、健康寿命が向上することで、町で一番お金が掛かっている民生費を減らすことにも繋がるのではないかな。

天津町で働くための グループホームを



支援学校 田中匠 議員

天津支援学校では、将来の社会参加のための現場実習を体験する。実習を通して天津町で働きたいと考えている生徒の中には1時間半かけて通学している者もいる。しかし、現状では天津町に働く場所があっても生活支援を受けられるグループホームがなく、一人暮らしや長距離通勤には不安を抱く生徒も多い。今後、天津町で就労を目指す者のために取り組む考えはないかな。

外国人への情報提供の充実を



翔陽高 中根陸 議員

町内には多くの外国人が在住しているが、外国人の知人に聞くと、言語の違いで移動などが大変だと声があった。町では外国人向けガイドマップやハンドブックなどもあるが知られていない。外国人居住者や観光客向けのサービスを紹介するポスターなどを作成・掲示してほしい。また、スマートフォン版の町ホームページへ外国語版を導入してほしい。

高齢者に優しい街に



天津中 山邊真聡 議員

少子高齢化が進み、税を払う人が少なくなるので自分達が介護してもらえないのか不安だ。介護保険を払う人が少なくなっても、介護が成り立つような仕組みづくりや、タクシーやバスなどが必要な時に呼べる仕組み、無料バスの制度が必要ではないかな。今の自分達にはどうしようもできない問題なので町の皆さんに頑張してほしい。

自然豊かで単独で存続できる 天津町に



天津北中 神代喜太 議員

自然豊か、そして合併せずに天津町が存続してほしい。50年後は今より便利だと思いが環境問題は進んでいるはず。植林などで将来を見越した自然づくり、一度町外へ出た後も戻りたくなる町づくりや、就職しやすい環境づくりが必要。自分達は節電節水などの小さなことを積み重ねながら、一つひとつが子や孫の生活に繋がっていることを強く意識しなければならない。

賑わいと自然あふれる街に



天津高 西村美耶 議員

駅ビルを建て、駅を中心とした町おこしを行い、大型店舗から地元の中小店舗が共存した町づくりをしつつ、豊肥本線を復旧させて天津町で多くの方に有意義な時間を過ごしてほしい。町の活性化のために、地元での買い物や外食を積極的にを行い、ボランティア等への参加で総能力向上を図る。さらに、大学などで専門的なことを身に付けることで貢献していきたい。

農業が盛んで世界から 注目される町に



翔陽高 林巧 議員

天津町では農業が盛んだが、今よりももっと盛んになり、今まで通り人の手で農業が行われ、世界から注目される天津町であってほしい。今は後継者不足や食料不足など不安視されているが、自分達は農業に携わる高校だからこそできることがある。校内には小学生と一緒に農業を学ぶ活動もある。今後もそれらを続け、次世代に農業の知識や技術を継承することができる。

お年寄りや障がい者へ 優しい町に



支援学校 野崎保 議員

グループホームなどの生活の場が沢山あり、障がいのある人や高齢者がいきいきと自分らしく、働き、暮らせる町であってほしい。天津町の企業へ大津支援学校のことや、障がいがあったても働きたいと思っている人が沢山いることを知らせたい。また、障がい者が暮らせる施設や、街中スロープなどの施設整備なども必要だと思う。自分達は支援学校の良さをアピールしながら、自立していけるように精一杯勉強する。

Q 県営野球場の大津町への誘致活動を

A 現在のところ考えていない

山本 富二議員



岡山県倉敷スポーツ公園野球場

その他の質問

1. 通学路の安全対策について
2. 区長・消防団と民生委員との連携について

問 交通アクセスのよさ、近くには世界の阿蘇山があり、高校野球や、その他のイベント誘致が期待できるので県営野球場の誘致を考慮してもらいたい。

答 藤崎台球場は駐車場の狭さの課題がある。そういう状況の中で、菊陽町、合志市等も県営野球場の誘致をしているが県は県営野球場建設は検討していない。県の動きを確認しながら、大津町に建設する場合の条件などの情報を収集する。（町長）

答 県内野球関係団体による、新球場建設連絡会が設立され、新野球場建設要望書の提出や署名運動がされ、約二十万人の署名が集まった。検討会議は県営球場の建設に関しては、議題として審議される状況ではない。（教育部長）

Q 小中学生の異常な荷物の重さへの対策は

A 各校の情報を共有し工夫する

三宮 美香議員



ある日の荷物

問 大津町は、学校によつては以前から置き勉を認めている学校もあるが、それでも荷物の重さが、小学生で10キロ、中学生で12・2キロとなることがある。子どもたちからは「重くて肩が痛い」と聞き、保護者からも健康面での悪影響や不審者から逃げられないなど心配の声を聞く。教育委員会として対応を講ずるべきではないか。例えば、モデル校をつくり、きちんと子どもたちの荷物の重さを確認して検証し、学校に置いて帰れる

答 大津町は、学校によつては以前から置き勉を認めている学校もあるが、それでも荷物の重さが、小学生で10キロ、中学生で12・2キロとなることがある。子どもたちからは「重くて肩が痛い」と聞き、保護者からも健康面での悪影響や不審者から逃げられないなど心配の声を聞く。教育委員会として対応を講ずるべきではないか。例えば、モデル校をつくり、きちんと子どもたちの荷物の重さを確認して検証し、学校に置いて帰れる

答 各学校で取り組みを行っている。情報を共有して今後検討を行う。自分で考えて行動するなど、発達段階に応じた指導も含めて工夫していく。（教育長）

その他の質問

- ・幼稚園、小学校、中学校の熱中症対策について

町政を問う 9月定例会

一般質問

9議員が質問に登壇！

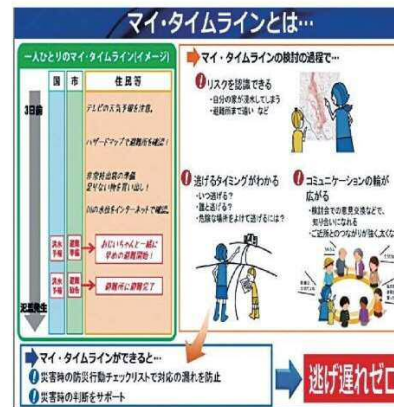
一般質問とは… 定例会の本会議において、一人の議員として、執行部の政策、施策のあり方の問題点を問いただし、必要な場合は具体的な施策を提案し実行を要請するもので、議員活動の中でも最重要の活動です。

- | | |
|------------|------------|
| 1. 豊瀬 和久議員 | 6. 佐藤 真二議員 |
| 2. 山本 富二議員 | 7. 坂本 典光議員 |
| 3. 三宮 美香議員 | 8. 金田 英樹議員 |
| 4. 荒木 俊彦議員 | 9. 永田 和彦議員 |
| 5. 山部 良二議員 | |

Q マイ・タイムラインで防災意識社会の構築を

A 自ら判断し、自らの命を守ることは大変重要

豊瀬 和久議員



問 住民が自らの災害時の動きを決めて、確実に逃げるために、自分自身の年齢、住んでいる場所、家族構成などにあったマイ・タイムラインづくりを進めるために、地域でマイ・タイムライン検討会を開き、全町民へ普及させるべきではないか。さらに、大人だけでなく、小中学生向けのマイ・タイムラインづくりも重要だと思う。

答 今こそ役場と地域と学校が一体となった命を守る防災の取り組みを進め、防災意識社会を構築していくべきだ。

答 地域の特性に応じ、地域ごとに対応していくことが重要であり、家庭等において、子どもと一緒に災害のリスクについて考え、避難行動の具体的な対応を自分たちで決め、それに基づき、行動していただきたい。（町長）

答 自ら判断し、自らの命を守る行動ができるということは大変重要である。日ごろから備えるという意味において、マイ・タイムラインの考え方は効果的である。（教育長）

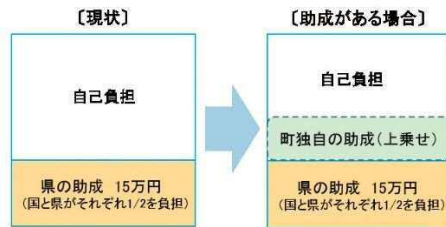
その他の質問

- ・町営住宅入居に対しての連帯保証人の取り扱いについて
- ・児童虐待防止対策の強化について
- ・サテライトオフィスの誘致について

Q 特定不妊治療への助成制度を

A 実現に向け、検討していく

佐藤 真二議員



(県の助成制度には、治療方法や年齢などにより金額や回数制限があります。)

町独自の助成があれば……

その他の質問

- ・工事入札落札率の高止まりへの対応
- ・学校施設整備計画の策定
- ・立野ダムの上流に想定外の豪雨災害への影響

特定不妊治療が非常に増えている。当事者は様々な負担を強いられるが、そのうち経済的な負担は、一週間の治療が百万円ほど、数回繰り返せば数百万円にもなることもあるという。この負担に対し、県が一部の助成を行っているが、それでもまだ残る負担は大きい。これに対する町独自の助成を行うことはできないか。他の自治体では多くの事例がある。

町民からの県への補助申請は毎年30人前後あっている。治療を受ける方の負担の軽減や、より安心・安全な妊娠・出産に資するという観点から、町としても取り組まなければならない課題と認識している。支援については他の自治体の状況も踏まえ、実施に向け検討する。

(町長)

Q 荒木元町長の記念碑の件

A 有志でされるなら検討する

坂本 典光議員



Jリーグのキャンプにも使われた

その他の質問

- ・行政事務の司令塔について
- ・攻めの農業のリーダー育成が望まれる
- ・開かれた学校

荒木元町長は大津高校長時には、体育コースを設置し、県下から集まった生徒を大津寮に住まわせた。平岡監督を招いてからサッカー部は全国大会出場常連校になった。また荒木校長本人が監督として女子サッカー部を全国大会優勝に導かれている。

町長時には芝のコートが4面とれるサッカー場、今のスポーツの森を建設された。現在、サッカーのために来町した生徒たちの宿泊で民宿は賑わっている。サッカーの町として大津町の知名度を上げるのに貢献されたことをたたえてスポーツの森に記念のレリーフを設置するつもりはないか。

(町長)

Q 立野ダムによる災害の想定が必要

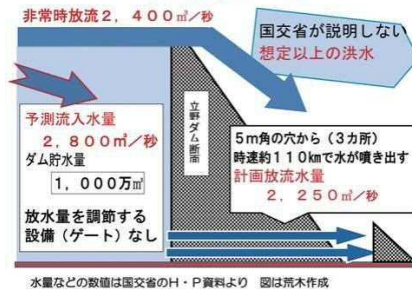
A 国交省に丁寧な説明をお願いする

荒木 俊彦議員



想定外では済まされない立野ダムによる災害

立野ダムには「洪水調節ゲート」はありません



その他の質問

- ・介護の不安、徘徊事故に保険を
- ・住宅の耐震化補助の充実が必要

地域住民の疑問に答えられないまま、国交省は立野ダム着工を強行した。説明責任を果たさない国の行政に怒りを覚える。西日本豪雨で愛媛県「ひじ川」上流の野村ダムの非常放流によって約3km下流の市街地で5人の方が犠牲になられ、2階床までの浸水で650棟で莫大な損害がでた。ところが国は「想定外の豪雨災害」として損害賠償に依拠していない。野村ダムの貯水量と同等の立野ダム上流に想定外の

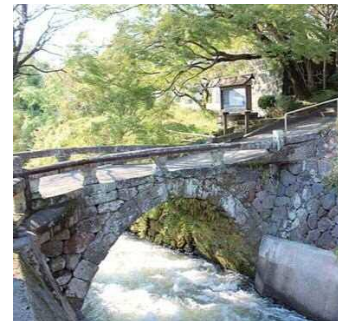
大雨が降ったら、下流の大津町民に大被害が想定される。国に説明責任を求めておかないと、いざ災害の時、国は想定外として責任を取らない。立野ダムは穴あきダムで放流口にゲート設備がなく、仮にダムが満水になった場合、ダム堤頂を超えて水が流れるが、有効な洪水対策であると考えられる。現地に行けなかった方もあるので、国交省には丁寧な説明責任をお願いしていく。

(町長)

Q 遺産登録を今後の町づくりに活用を

A 世界かんがい施設遺産を今後、PRしていく

山部 良二議員



上井手にかかる石橋

その他の質問

- ・高齢者を貧困化・孤立化させない取り組み
- ・児童虐待の未然防止の取り組み

今年の8月15日の熊日新聞にて、白川流域用水群が世界かんがい施設遺産に登録されると報道があった。登録により「かんがい施設」の持続的な活用が期待され、活用の仕方によっては、観光資源として町づくりに貢献でき、子供たちの歴史教材にもなる。また、熊本地震を乗り越え遺産登録されたことは、大津町の宝が世界の宝になった歴史的瞬間ではないか、このことを踏まえ今後の町づくりに生かしていくのか伺う。

熊本中流域関連における遺産登録で水田を潤し農業の発展に貢献した。歴史的価値のある農業用水利用施設である。これから地域活性化や観光、子供たちへの歴史教材への活用を考えていく。今後、熊本市、菊陽町と連携ししっかりPRに取り組む。

(町長)

私たち尚綱大学現代文化学部1年の12名は前回の議会傍聴に続き、大津町議会広報委員の方々と会合を持ちました。

その際の質疑応答や感想についてお届けします (^^)

- ☆「ムラホン」ペア → 村本優紀・本田杼聖
 ♪「マスマツ」ペア → 増田聖・松岡あかり

2組それぞれで
書きました!!



1. 議員の活動について教えてください!

Q. 議会の場以外ではどのような仕事をしていますか?

- ☞農業や新聞配達、車掌、自営業、専業主婦などそれぞれ。政治や経済などの知識を磨くために本を読んだり研修に行ったり…町民から困ったことを相談されれば情報収集をしたり現地に出向いたりも! 他にも小中学校での読み聞かせや、あいさつ運動を行うなど、地域に寄り添って取り組んでいます。 (☆ムラホン)
- ☞多くの議員は農業や会社員など他の仕事との掛け持ち。その合間に小学校など現場に出向いたりボランティアなどに参加して、地域の現状と住民の声を聴いています。また、幅広い知識が必要とされるため勉強会への参加などで情報収集をし、自己の見解を深めています。 (♪マスマツ)

Q. 「検討する」と回答された問題は実際に解決できていますか?

- ☞できている問題もそうでない問題も。どこに予算を振り分けるかを考えた結果、実現できないものもある。議員一般質問からの提案に対して、「検討する」と答弁があった場合、数年前からは検討状況が町ホームページ上で分かるようになっています。 (☆ムラホン)
- ☞実際に検討され、3か月後の議会で結果の報告が文書によって呈示されます。「前向きな検討」の末、実行しかねるものには、予算の問題や地主の合意が得られない等、きちんと理由づけがされています。 (♪マスマツ)



特集

尚綱大学生によるレポート 14

Q 全町的視点から見た「スポーツの森駅」新設の意義

A 町の発展のためにも周辺開発は考えていきたい

金田 英樹議員



スポーツの森 (大津町運動公園)

その他の質問

・昭和園の再整備による町の魅力向上

問 新駅設置の議論は何度もされているが、主に費用対効果の問題から具体的な計画策定や実現には至っていない。しかし、駅新設には近隣数百メートル圏内に留まらない、全町の発展が期待でき、投資以上の効果が見込める。大津町が永続的に住みよい地域であるために、今こそ空間的にも時間的にもより広い視点での「先を見すえた具体的な検討」が必要である。

答 試算では駅舎等に約4億円、人件費を含む維持管理に年間約1千万円が必要。簡易の無人駅であれば費用は抑えられる。問 簡易な無人駅であれば、費用も半分以上。答 「町が計画した開発を先導する」という力強い思いのもとに調査や議論を進める考えはないか。答 「開発が進むことで地域が潤う」という考えは理解できる。今後もしっかり検討したい。(町長)

Q 人生100年時代の備えとは

A 時代に合った制度改革とAI革命に期待する

永田 和彦議員



問 社会保障予算をどう確保しながら有効な福祉政策を町は展開できるのか。今あるデータで将来を予測して事前対策を打つことができるのか。答 定年年齢設定を無くしたり年金支給年齢の調整も国はもくろむ。人生100年時代となっても人には夢や希望は必要である。人生が20年延びたと喜べる政策が求められる。

問 社会保障費をこれからも維持していくためには、それを支える生産人口を確保していくことが大事である。国においても労働力を確保するため、希望する高齢者が70まで働けるように現行65までの雇用継続義務付け年齢を見直す検討もされている。町は高齢者の仕事の確保としてシルバー人材センターの充実、企業などとの理解と協力を得ながら高齢者の方がいつまでも健康で生きがいを持って働くことができるような環境整備を進めていかなければならないと考えている。

答 人工知能を利用したAI病院を産学官で推進すると国は言っており、健康寿命が延びることに期待している。(町長)

傍聴者数のべ 55 人

若者の声を
聞いてみました！

自分が住む町の課題を知り、また議員や行政職員はどのように考えているか知ることが大事だと感じました。

「質問が長く複雑」という
こともあるのではないま
した。

※町行政の事業に対するご意見・ご要望については、担当課へ直接ご連絡いただくか、「町政への提案」をご利用いただきますようお願いいたします。

議会への声を
募集中です！

○議会への提言・疑問・質問などをお寄せください。

○今回の議会だよりで関心のある記事や感想があればお書きください。また、もっと読みたくなるような「アイデア」があればお寄せください。

初めて議會を傍聴しました。感想は、テレビで見た国会での討論とは大きく違うということでした。もつと議論が滞る印象がありました。淡々とスムーズに進んでいて驚きました。



立命館大学
法学部1年
田中沙英さん

自分が住む町を知る
ことは大事

初めて傍聴を経験しました。始めは本会議や委員会の役割がよく分からず何が話しかわれるのか想像もできませんでした。しかし、間近で耳を傾けると当初抱いていた抵抗感は薄れました。



熊本学園大学
経済学部1年
み いけ どう や
三池登也さん

様々な分野へ関心を持って、
先入観もなくなる

まで幅広く話題が抽出されており親しみを感ぜました。委員会は、経済建設委員会を傍聴し災害復旧や公共整備について学びました。用語が難解で理解が難しいものもありましたが、大まかに全体像を掴めました。最終日の本会議では他の委員会での審査内容も傍聴できました。福祉や医療など興味の幅が広がりました。

傍聴をきっかけに様々な分野へ関心を持って、議会への先入観もなくなるかもしれないので未経験の人には薦めたいです。

Q. どんな人が傍聴にきますか？

◎家庭を持つと議会に興味を持つ方が多い。また、年配で時間のある方や、政治に興味がある方も傍聴しに来られる。誘われて初回は来るが、2回目に来る方が少ない…。地区の問題がかかわる場合は議員が区長を誘うこともあります。傍聴者が多いと議員の気持ちに変化があり、また、職員の答弁も丁寧になるなど、町民が議会の活動をしっかり見るのは意外な効果もあるようです。(☆ムラホン)

保護者の方などは学校関係の疑問を確認したいなど、普段のちょっとした疑問が議会傍聴につながっています。また傍聴がきっかけで実際に議員になった方もいるとのことでした。時間のある年配の方や政治に興味のある方が特に傍聴に来ることが多く、さらに関心の高い一部の問題のみ傍聴に来られる方など様々な背景があるようです。



2. 議会だよりを讀んでの感想

議会だよりの印象

若い人を中心にあまり目を通さない人が多いとの話でした。私たちには専門用語や予算等、書いてあることが正直難しく感じました。また、絵や写真が多くそれに気を取られ、逆に内容が頭に入っていないという意見もありました。

町民から興味を持ってもらうにはどうしたらよいか

議員個人の現地調査レポートを載せたり、私生活に関することが載っていれば、まずは人に興味を持って読みたくなります。また、小学生でも分かるようなかみ砕いた説明欄を入れるなどの意見が出ました。

3. 感想

議員の方々や意見交換をする貴重な経験ができ、質問の際には具体例を挙げて分かりやすく教えていただきました。普段は自身の仕事をしながら質問のために情報収集をしたり、町民の声を聴いたりするなど、大津町をより良くするために様々なことをしているのだと分かりました。

議会だよりをより良いものにしようという熱意を感じ、多くの人に議会への興味を持ってもらおうと
 工夫を凝らしていて、過去の紙面と比べてもとても読みやすくなっています。ぜひ多くの方に読んで
 ほしいです。

(☆ムラホン)

👉議員の方々の議会外での活動に興味があったので知ることができて良かったです。

「前向きに検討する」との言葉には、議会での言い逃れのようなイメージがあり、実際には検討もされないのだろーと思っていました。しかし、大津町では議題がきちんと検討され文書で報告されるという点に驚きました。議会傍聴に来られる方は政治に興味がある方だけだと思っていたが、実際は様々な理由で傍聴に行く方がいると知り、議会はもっと身近に考えていいものだと思います。

